

農業経営部会通信

28号

今月の例会報告

農業経営・法人化グループ～農業経営における事業承継～

11月15日(金)、農業経営・法人化グループ11月例会が19名の参加で行われました。池協会計事務所の工藤秋一氏が「農業経営における事業承継のいろは」というテーマで講演。特例税制のポイントや法人の利点等幅広く解説して頂きました。

工藤氏は、事業承継には①資本の承継②経営の承継③事業の承継④個人財産の承継の4つの承継があると読み解いたうえで、①経営のシステム化②幹部の承継③先代の支援という3つのポイントがあると語りました。その上で、社員が自ら考え行動できる風土を醸成し、できることなら10年はかけられるよう承継計画を早めに立てておくことが無駄なく承継を行うためのコツだと語りました。そのほか、平成30年から改正となった事業承継税制の特例にも触れ「使い勝手のいい制度となったが、これに頼らず承継できるのが一番いい」と日ごろからの備えを強調しました。



6次化・販路開拓グループ～内海ファーム6次化への挑戦～

11月1日(金)、6次化・販路開拓グループ11月例会が19名の参加で開催。グループリーダーでもある(有)内海ファーム 代表取締役 内海 洋平氏が現在挑戦している6次化について報告しました。

同社は、鹿追町で乳牛・肉牛合わせて125頭を飼育しています。豊頃町で食肉加工を行っている(株)エレゾ社に委託し、牛肉を使ったサラミやサルシッチャなどの加工販売に挑戦しています。さらに、挽肉から自分で作ったハンバーガーを自らイベント出展し販売するなどにも取り組んでいます。当日は自社の取組に関する自身の想いとそのルーツについて語った後、実際に加工品を参加者が試食し、率直に感想や意見を交わしました。

参加者からは時に厳しい意見も出つつも、よりよくなるためのアドバイスを受け、今後もグループ全体で内海社長の挑戦を支え、継続していきます。



今後の予定

● 農業経営部会12月以降も勉強会が盛りだくさん！

農業経営部会は今年で設立30周年を迎えます。近年では話題になっている6次化や企業連携を先駆けて取り組み、十勝の農業の発展に寄与してきました。

そこで今年の望年会では初代から6代目までの歴代部会長にご登壇頂き、30周年記念パネルディスカッションを開催。今とは大きく違う時代を開拓してきた先人の想いを聞き、これからの引き継ぎます。

その他にも多くの勉強会や視察を開催していきます。

- ①12/20望年例会(30周年記念パネルディスカッション)
- ②12/23農業政策グループ(地域農協や農業者への期待)
(講師)農林水産省 協同組織課長 日向 彰 氏
- ③1/22農業経営・法人化グループ(農業における労務管理)
(講師)支部会員・しまや事務所 嶋谷 耕治 氏
- ④2/26農業新技術グループ(新作物へのチャレンジ)
(報告・視察先)十勝グランナッツ
etc.....